

DPC制度と新機能係数について

DPC評価分科会
2009/02/23

手稲溪仁会病院
副院長 櫻村 暢一
経営管理部 堀 公明 畠山 義廣

COPYRIGHT © TERU KEMURA MEDICAL CENTER

石狩市十当別町=80,425人
札幌市(手稲区・西区・北区)=624,144人
小樽市=136,645人
合計=841,214人

札幌市

COPYRIGHT © TERU KEMURA MEDICAL CENTER

【手稲溪仁会医療センターの概況】

病床数		2007年度実績	
一般病棟	487床	平均在院日数	10.9日
集中治療室	12床	病床稼働率	90.3%
救命救急病床	19床	(入院患者65歳以上の率)	48.2%
小児入院医療管理料算定病床	29床	紹介率	43.0%
		逆紹介率	27.2%
		救急患者数	19,103人/年
		(内、救急車搬入人数)	4,116人/年
		手術件数	6,756件/年
		分娩件数	519件/年
		消化器内視鏡検査件数	19,482件/年
		クリニカルパス	5,935件/年
		施行率	37.3%
		種類	208

職員数	
医師 (研修医・歯科医含む)	217人
看護師・准看護師	502人
薬剤師	36人
リハビリスタッフ (PT・OT・ST)	39人
放射線技師	27人
臨床検査技師	28人
臨床工学士	17人
管理栄養士・栄養士	11人
メディカルウーカー・セクレタリー	48人
事務 (総務・経理・庶務・システム・他)	181人
その他 (看護助手・技術職補助他)	138人

※ 職員数については正職員・嘱託職員・パート職員の合計 (平成21年2月1日現在)

COPYRIGHT © TERU KEMURA MEDICAL CENTER

地域の民間急性期病院の役割

- 救命救急医療
 - 365日、24時間 一次から三次まで、すべての救急患者を受け入れることを理念に対応
- 急性期専門医療
 - 特に地域がん拠点病院として、急性期がん治療の充実
- 地域医療連携
 - 地域医療支援、地域連携機能の充実
- 教育・研修
 - 臨床研修の推進

COPYRIGHT © TERU KEMURA MEDICAL CENTER

救命救急センター
2008年12月31日現在

専属医師	12名(後期研修医含む)	
看護師	救命 55名	OPE 39名 ICU 33名
病床	ICU...10床稼働(12床)	救命救急病床... 19床
稼働率	ICU... 92.7%	救命救急病床... 93.8%
平均在院日数	ICU... 05.1日	救命救急病床... 3.3日
患者数(1日平均)	救急車 10.7名	walk-in 42.2名

※ 稼働率、平均在院日数、患者数:2008年1月~12月

※ 救命医療に係わる当直医(14名)
救急部 ... 3名 小児科 ... 1名
外科 ... 1名 ICU ... 1名
脳外科 ... 1名 内科 ... 1名
循環器 ... 1名 産婦人科... 1名
消化器 ... 1名 研修医 ... 3名

※ドクターヘリ運航に関わる医師・看護師
医師...救急部6名、北大4名、札幌大4名
看護師...6名

COPYRIGHT © TERU KEMURA MEDICAL CENTER

救命救急センター実績 (2008年1月~12月)

2008年1月~12月	年間人数 ()内は月平均	75歳以上	75歳以上割合
独歩数	18,549 (1,282)	1,539	8.3%
救急車数	3,939 (328)	1,161	29.5%
総患者数	22,488 (1,874)	2,700	12.0%
内 独歩入院	1,531 (128)	352	23.0%
内 救急車入院	1,859 (155)	712	38.3%
救急経由入院	3,390 (283)	1,064	31.4%

COPYRIGHT © TERU KEMURA MEDICAL CENTER

救命救急センター 当院の救急診療の現状

救命救急センターの受入要請に応えられなかった件数 (2007年度) 398件

↓

内訳	件数	理由				
		入院満床	重症対応中	設備稼働中	精神疾患等	その他
	398	139	148	48	35	28

当院の受入れ体制

- 救命病棟: 夕方5時には空床5床確保
- ICU: 空床1床確保
- 手術室: 1室確保
- 主要専門科: 24時間体制

救命病棟が19床(新型救命救急センター) 一次から三次まですべてを受け入れている

COPYRIGHT © TERE HELIX AI MEDICAL CENTER

救命救急センター 救急入院の受入れ病棟

病棟	入院数(人)	割合
救命救急	1,407	41.5%
小児センター	501	14.8%
その他	1,482	43.7%
総数	3,390	100.0%

救命救急加算算定率 77.6%

- 救命救急加算が取れるのは救命病棟入院患者の約80%
- 緊急入院全体では約30%程度

COPYRIGHT © TERE HELIX AI MEDICAL CENTER

救命救急センター 救命病棟 在室日数による出来高対比(DPC-出来高)金額

救命病棟入室初日対比(DPC対象患者)

救命入室人数	平均単価(初日)	内加算有	内加算無
273	¥-17,733	¥-12,703	¥-27,775

在室期間別対比(上記DPC対象患者)

日数	人数	割合	金額
1日	110	40.3%	¥-14,062
2日	65	23.8%	¥-1,494
3日	28	10.3%	¥9,394
4日	14	5.1%	¥14,583
5日超	56	20.5%	¥76,476

(2008年8月~10月実績)

- 在院日数2日以内はマイナス算定となる。当院の平均在室日数は、3.3日!
- 64.1%の患者は2日以内に退室し、74.4%の患者は3日以内に退室している

COPYRIGHT © TERE HELIX AI MEDICAL CENTER

救命救急センター ICU入室患者の出来高対比(DPC-出来高)金額

ICU稼働病床数	10床
平均稼働率	86%
平均在室日数	7.2日

※ICU病床は12床であるが、現在10床で稼働中

ICU在室患者の年齢区分別対比(DPC対象患者)

	18歳未満	18~75歳未満	75歳以上	計
入室者数	10	58	39	107
入室比率	9%	54%	36%	100%
在室日数(延べ)	36	260	182	478
対比(包括-出来高)	¥186,250	¥-9,666,130	¥-3,121,340	¥-12,601,220
平均単価	¥5,174	¥-37,177	¥-17,150	¥-26,362

COPYRIGHT © TERE HELIX AI MEDICAL CENTER

救命救急センター 診療科別がん疾患退院患者数

06年	性別	診療科																		
		呼吸器科	消化器科	泌尿器科	循環器科	小児科	外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻科	産科	小児科	心臓血管科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻科		
男	1,544	10	181	533	122	2	1	304	14	32	0	280	0	0	0	50	8	2	14	3
女	1,635	0	82	247	78	0	5	335	8	25	0	46	8	122	19	32	11	2	32	3
計	2,219	19	264	829	201	2	6	681	22	57	0	326	8	122	19	82	17	4	46	6

全入院患者比率 21.8%

07年	性別	診療科																		
		呼吸器科	消化器科	泌尿器科	循環器科	小児科	外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻科	産科	小児科	心臓血管科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻科		
男	1,817	10	269	648	114	3	1	310	7	10	0	338	0	0	9	57	0	1	22	1
女	1,852	0	89	322	86	0	4	357	9	16	0	53	2	784	11	35	8	1	23	2
計	3,700	10	359	970	200	3	5	675	16	26	0	391	2	794	20	92	8	2	45	3

全入院患者比率 23.8%

COPYRIGHT © TERE HELIX AI MEDICAL CENTER

救命救急センター がん疾患分類別治療状況調 06年度

06年度	症例数	手術	化学療法	放射線療法
口腔、口腔および咽頭の悪性新生物	27	5	9	8
消化器の悪性新生物	1,109	818	219	28
呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物	335	59	141	41
骨および関節軟骨の悪性新生物	1	0	0	0
皮膚の黒色腫およびその他の悪性新生物	11	11	0	1
中皮および軟部組織の悪性新生物	6	3	2	0
乳癌の悪性新生物	84	47	41	20
女性性腺の悪性新生物	290	80	228	11
男性性腺の悪性新生物	52	24	8	0
神経の悪性新生物	153	104	28	0
頭、顔および中枢神経系のその他の腫瘍の悪性新生物	8	8	0	0
甲状腺およびその他の内分泌腺の悪性新生物	44	38	0	2
部位不明腫、結核菌および部位不明の悪性新生物	152	58	52	14
リンパ腫、造血細胞および関連組織の悪性新生物	213	20	170	8
上皮内新生物	28	27	0	0
計	2,524	1,078	898	133

COPYRIGHT © TERE HELIX AI MEDICAL CENTER

がん治療

がん疾患分類別治療状況調 07年度

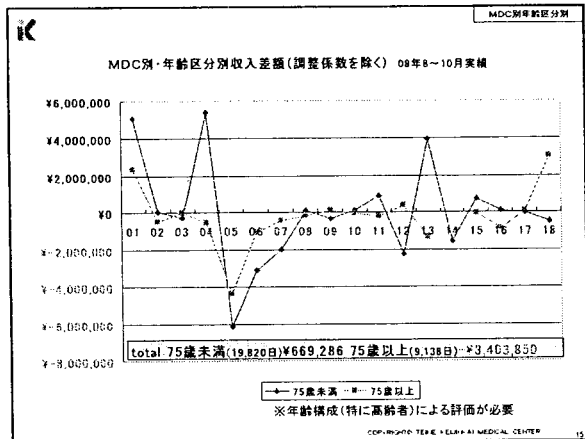
07年度	化学療法	手術	化学療法	放射線療法
口唇、口腔および咽頭の悪性新生物	28	16	8	5
消化管の悪性新生物	1,285	844	386	27
呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物	437	118	215	54
骨および関節軟骨の悪性新生物	0	0	0	0
皮膚の黒色腫およびその他の悪性新生物	5	4	0	0
中皮および軟部組織の悪性新生物	14	5	10	0
乳房の悪性新生物	110	74	50	113
女性生殖系の悪性新生物	308	94	241	12
男性生殖系の悪性新生物	186	48	12	3
腎臓の悪性新生物	200	136	40	8
胆、膵および中枢神経系の腫瘍の悪性新生物	4	5	0	2
甲狀腺およびその他の内分泌腺の悪性新生物	30	29	0	1
部位不明腫瘍、肉腫腫瘍および部位不明の悪性新生物	172	72	84	28
リンパ腫、造血腫瘍および関連腫瘍の悪性新生物	212	127	155	18
上皮内腫瘍	29	27	0	0
計	3,004	1,597	1,182	183

※53%に手術が施行されている

がん治療

がん疾患年代別患者数 06~07年度

06年度			07年度		
年齢区分	性別	計	年齢区分	性別	計
0~17	男	8	0~17	男	9
	女	19		女	15
	計	27		計	24
18~74	男	1,141	18~74	男	1,325
	女	1,314		女	1,533
	計	2,455		計	2,858
75~	男	435	75~	男	543
	女	302		女	305
	計	737		計	848
計		3,219	計		3,730



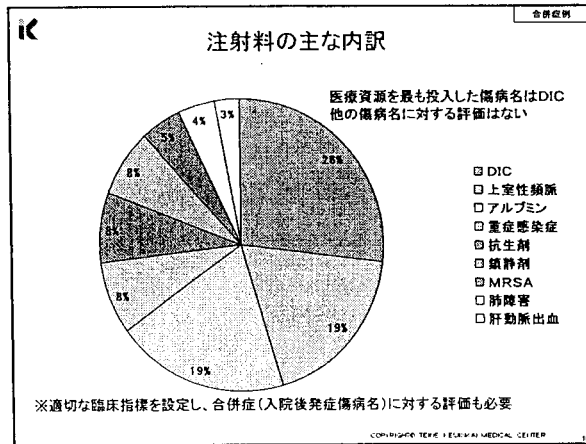
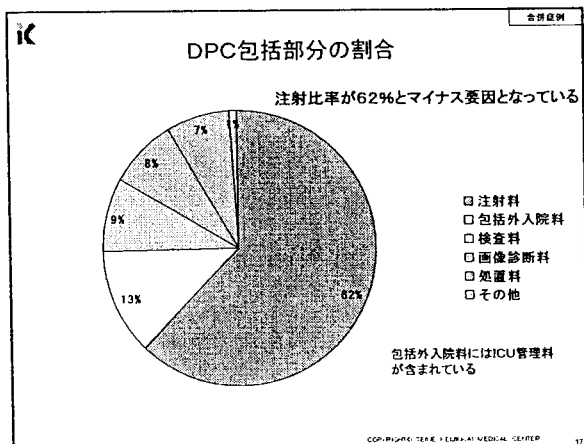
合併症例

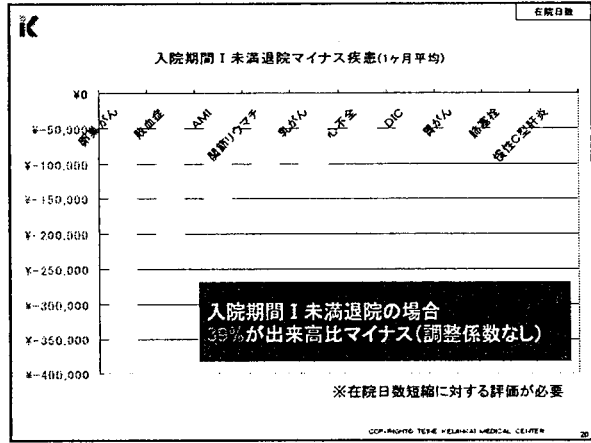
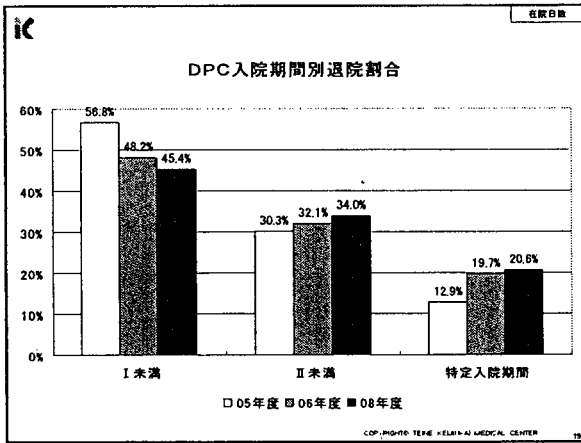
合併症によるマイナス算定例

DPC番号130100xxxx3xx DIC
 出来高請求額: 7,193,148円
 ↓
 DPC請求額S: 5,389,652円
 差額 -180万円/月

DPC決定病名以外の主な疾患

膵頭部癌、発作性上室性頻脈、敗血症性ショック
 急性呼吸窮迫症候群、肝動脈仮性瘤、脳室内出血
 腹腔内膿瘍、急性肺炎、MRSA感染症など





- 地域医療支援・地域医療連携
- ### 地域医療支援・地域医療連携への取り組み
- 地域医療支援機能
 - ドクターヘリによる救命救急医療・急性期専門医療の地域格差の是正
 - 後志地区、石狩地区へ専門医の派遣
 - ・ 北海道緊急臨時的医師派遣体制整備事業への協力など
 - 各種医療職養成機関の実地訓練教育への協力
 - ・ 救急救命士気管挿管臨床研修など
 - 疾患別HOT-LINE及び遠隔診断への取り組み
 - ・ 脳卒中HOT-LINE、急性心筋梗塞HOT-LINE
 - ・ 画像診断、心電図診断
 - 救急医療(一次・二次)輪番制度への参加
 - 3疾病4事業(がん・急性心筋梗塞・脳卒中・救急・周産期・小児・災害)への取り組み
 - 家庭医療センター開設(2009年度): クリニック、訪問診療、ホスピスケア
 - 地域医療連携機能(紹介率: 55%、逆紹介率: 30%)
 - 地域連携医療機関登録数: 183機関(診療所=140件、病院=43件)
 - 地域連携バス: 大腿骨頸部骨折、脳卒中、急性心筋梗塞、慢性腎不全、気管支喘息など
 - 地域医療連携のネットワークを活用した各種教育セミナーの開催
 - ・ 2008年度: 34プログラム
- COPYRIGHT © TEIKO HOSPITAL MEDICAL CENTER

- 臨床研修
- ### 臨床研修への取り組み
- 1997年4月: 臨床研修指定病院の指定を受ける
 - 1998年度: 初期臨床研修医の受入を開始
 - 2年制プログラム
 - 2001年度: 米国ピッツバーグ大学とGIM教育提携
 - 「世界に通用する医師の育成」を目指し、米国人指導医師招聘
 - 3年制のプログラムに変更
 - 2005年度: 内科系・外科系に加え、小児科コースを新設
 - 2006年度: 放射線科コースを新設
 - 2007年度: 病理科・麻酔科コースを新設
 - 2009年度: 家庭医療科・救急科コースを新設予定
 - 過去10年間の初期臨床研修採用医師数122人(20名/年の受入)
 - これまでに全国へ巣立った初期臨床研修医師数: 45人
 - 後期臨床研修医師及び初期臨床研修中の医師数: 77名
- COPYRIGHT © TEIKO HOSPITAL MEDICAL CENTER

新機能評価係数

望まれる機能評価係数への提案

COPYRIGHT © TEIKO HOSPITAL MEDICAL CENTER

急性期総合病院の『役割』に応じた「機能係数」と
公立病院・大学病院と民間病院の違い
～救命救急医療・周産期、小児医療・高度医療等の政策医療との関係～

	公立・大学病院等	民間病院
救命救急医療	(1) 救命救急センター運営補助金 (2) 繰出金 救命救急センターにおける医師等の特権及び空床の確保等救急医療の確保に必要な経費に相当する額	(1) 地方財政により運営補助がない医療機関がある (2) 自己負担 ・ 当院では、救命救急センター専用病床の空床を5床(毎日17時まで)に確保する)と救命手術室1室を救命救急用として確保している。
周産期・小児医療	・ 周産期・小児医療の実施に要する経費のうち、これに伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額を繰出金として交付	自己負担 (地域における小児専用病床の確保等)
高度医療	・ 高度医療の実施に要する経費のうち、これに伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額を繰出金として交付	自己負担
医師及び看護師等の研究研修に要する経費	・ 医師及び看護師等の研究研修に要する経費の1/2を繰出金として交付	自己負担 (臨床研修、学会・学術活動支援等)

COPYRIGHT © TEIKO HOSPITAL MEDICAL CENTER

政策医療と機能係数について

- 政策医療（医療計画で定める救急、周産期、小児、へき地等）について、機能係数を定める場合には、運営補助金及び地方公営企業繰出金（交付税等）を受ける医療機関と受けない医療機関が不公平にならない仕組みが必要である

（運営補助金・繰出金等を受ける医療機関）（運営補助金・繰出金等を受けない医療機関）

※ 事業収入に補助金及び繰出金等を受けている医療機関の機能係数と補助金及び繰出金を受けない医療機関が両者の差額を埋う場合には機能係数の調整が必要ではないか

新機能評価係数について ①

- 病院機能に対する評価
 - 民間急性期医療機関が特定機能病院と同等或いはそれ以上の機能を有している場合の評価
 - 医師... 病床数に30/100を乗じて得た数以上が常勤しており、専門学会から認定された専門医、指導医を相当数在籍している
 - 薬剤師... 入院患者÷30が最低基準、病床薬剤師の配置率
 - 看護師... 7:1以上、専門・認定看護師の適正配置
 - 理学療法士... 病床専従配置の評価及び多様な疾患にたいする理学療法の実施に対する評価
 - 放射線治療... 医学物理士、放射線治療品質管理士の配置
 - 診療情報管理士【医療の透明化評価に対する】... 年間の退院患者2,000人に対して1名の人員配置

新機能評価係数について ②

- 救急医療に対する評価
 - 入院初日の評価
 - 初日の治療が最も医療資源を必要とし、救命の鍵となる
 - 現行のDPC算定ではほとんどがマイナス算定である
 - 一次から三次まですべての患者を受け入れている評価
 - 365日、24時間 一次から三次まですべての患者を受け入れる体制は人員の確保と経済的負担が多くなる
 - この体制維持が地域医療にとって、極めて重要である
 - 受け入れ体制の評価
 - 受け入れのための空床確保、手術室の確保
 - 人員確保（24時間体制での医師、看護師、放射線技師、検査技師、薬剤師など）
 - 重症患者に対応できる体制（緊急手術（処置）、PCI、透析、PCPS、IAB Pなど）
 - 重症度の評価（臨床指標設定が課題）
 - 重症度の設定がないため、重症患者が評価されず、経済的負担が問題である
 - 重症度スコアリング等の臨床指標を設定し、評価が必要である
 - 集中治療に対する評価
 - 重症度、多くの傷病名を合併する患者の評価が必要である

新機能評価係数について ③

- 臨床研修に対する評価
 - 臨床研修機能に応じた評価
 - 研修医師数、指導体制（指導医師数）、研修プログラムの完成度
 - 教育に関わる診療行為への評価
- 地域連携（支援）に対する評価
 - 紹介（逆）率での評価の見直しと総合的・地域連携機能の評価
 - 地域連携、支援は複雑、多様化しており、現行の紹介（逆）率だけでは評価できないのは明らか一新たな評価基準が必要である
 - 地域格差の是正（ドクターヘリの運航、遠隔画像診断、医師派遣事業など）への評価
 - 小児、周産期医療への評価
 - 小児科医、産科医の確保、地域への医師派遣
 - 在宅医療、家庭医療への評価
 - 急性期医療を終了した患者の最終の受け皿は在宅医療である
 - 地域住民が安心して在宅医療に移行するため地域中核病院の支援、連携は不可欠である
 - 家庭医療プログラムへの評価

新機能評価係数について ④

- 診療機能に対する評価(1)
 - 患者の年齢構成による評価（特に高齢者評価）
 - 患者の年齢構成は年々高齢化してきている
 - 特に75歳以上の患者は併存症、合併症の割合も高く、在院日数も長い傾向があり、マイナス算定の要因となっている
 - 高齢者、特に75歳以上の患者には係数評価が望まれる
 - 入院後合併症に対する評価
 - 入院時併存病名、入院後発症傷病名（特に感染症）に対する臨床指標を設定した評価
 - 在院日数短縮に対する評価
 - 良質な医療を提供し、かつ在院日数を短縮することは患者満足度の向上と医療費の適正化に重要である
 - しかし、現状の医療費設定は在院日数の短縮に十分配慮されたものではない
 - 入院期間 I における退院率に対する係数評価
 - 在院日数短縮に関わる看護必要度
 - 臨床指標を設定し、入院早期に厚い点数設定

新機能評価係数について ⑤

- 診療機能に対する評価(2)
 - 4疾病5事業への積極的取り組み体制
 - SCUの設置及びI-PA療法の施設基準取得に対する評価
 - PCIの年間件数が200件以上
 - 新規がん患者受入れ件数
 - 死因究明に対する評価
 - CPCの開催数
 - 解剖及び死後CT検査の件数
 - 細菌検査室設置の評価
 - 院内細菌検査により迅速かつ効率的な医療と在院日数の短縮に貢献
 - 悪性腫瘍手術に対する、術中病理迅速診断に対する評価
 - 癌の手術療法には必須の検査で、医療の質と効率性に貢献

ベンチマーク資料

ベンチマーク資料(参考資料)

COPPHOTO TEXE HELPAI MEDICAL CENTER 31

ベンチマーク資料

DPCデータ分析の活用

1) 医療の質の改善

```

    施設間のベンチマーク → 説明の出来る医療 → 院内での取組み
    
```

医療機関での違いを分析
臨床現場での議論

医学的説明
医療従事者に対する説明
社会、患者に対する説明
病院長室に対する説明

医療の質の改善

2) 支払い制度の適正化

```

    DPCと出来高の比較 → 質の高い効率的な医療に対する適切な評価 → 院外へ発信
    
```

差のある診断群分類の抽出
救急、ICU、化学療法など現状との差の具体的データ

評価の妥当性の指標

支払い制度の改善

効率化できるところは効率化した上で、質の保証に必要な医療費を算定する
医療の質の改善に役立ち、かつ支払い制度に適切に反映されることが大切

COPPHOTO TEXE HELPAI MEDICAL CENTER 32

ベンチマーク資料

当院におけるベンチマーク分析の指標

1. 包括収入ー出来高収入におけるポジショニングと内訳
2. 入院期間Ⅱ(全国の平均在院日数)と平均在院日数
3. 包括範囲の出来高点数(診療行為別の比較)
4. 年齢構成
5. 入院期間区分(入院期間Ⅰ、Ⅱ、特定入院期間、出来高期間)
6. 転帰
7. 入院状況(予定入院、緊急入院)

上記7項目を、各診療科の主要10疾患について分析し、フィードバックしている

COPPHOTO TEXE HELPAI MEDICAL CENTER 33

ベンチマーク資料

1. 包括収入ー出来高収入におけるポジショニングと内訳

● 病期名 2007年1月～12月
● D P C D 060335xx02000x
● 病期名 救急手術、救急入院、救急手術下処置術出納等 手術・処置等1 なし手術・処置等2 なし創傷出血なし

● 入院期間Ⅰ 4日 Ⅱ 8日

ベンチマーク	AZ		AH		AA		AR		AG	
	出来高	収入	出来高	収入	出来高	収入	出来高	収入	出来高	収入
成例数	53	502%	44	97%	43	3%	36	3%	39	5%
平均在院日数	52	51	51	51	52	51	51	51	52	51
手術	6,381	8,381	4,823	4,823	5,783	5,783	7,808	7,808	3,819	3,819
救急	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
入院	1,877	2,866	1,947	2,866	8,458	11,286	908	318	1,234	2,282
手術	2,518	3,716	4,823	4,823	13,201	14,412	2,808	0	2,608	3,124
入院	1,316	0	2,817	0	4,278	0	8,821	0	8,351	0
手術	316,003	318,903	227,222	231,822	327,038	327,828	216,294	216,294	222,422	222,422
入院	12,122	2,844	70,222	2,822	26,222	2,822	22,222	2,822	26,222	2,822
手術	8,222	7,808	200	17,808	2,818	2,818	5,910	0	12,122	2,822
その他	323	323	52	52	0	0	0	0	128	0
入院	1,082,116	1,488	1,112,111	2,822	227,202	2,822	124,422	1,288	128,222	2,822
手術	4,222	2,822	8,222	8,222	17,822	17,822	7,222	7,222	4,222	4,222
手術	188,222	188,222	188,222	222,822	222,822	188,222	188,222	188,222	188,222	188,222
合計	483,004	491,280	230,457	807,873	886,722	887,882	447,742	808,244	427,776	481,824
手術	22,222	17,210	522	522	522	522	22,822	22,822	22,822	22,822

COPPHOTO TEXE HELPAI MEDICAL CENTER 34

ベンチマーク資料

2. 入院期間Ⅱと平均在院日数

指標① 入院期間Ⅱと平均在院日数

項目	入院期間Ⅱ	平均在院日数
手術	52	51
AZ	51	51
AH	118	51
AA	52	51
AR	48	51
AG	53	51

COPPHOTO TEXE HELPAI MEDICAL CENTER 35

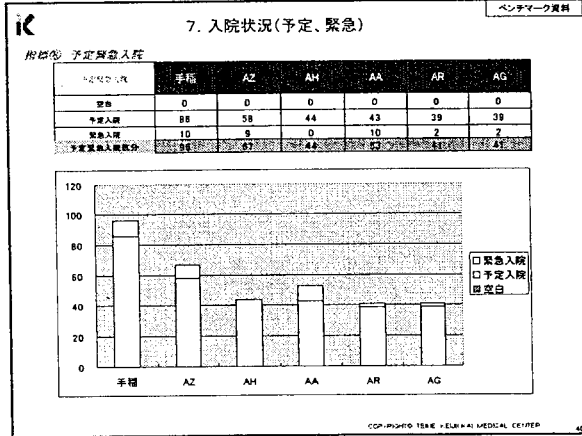
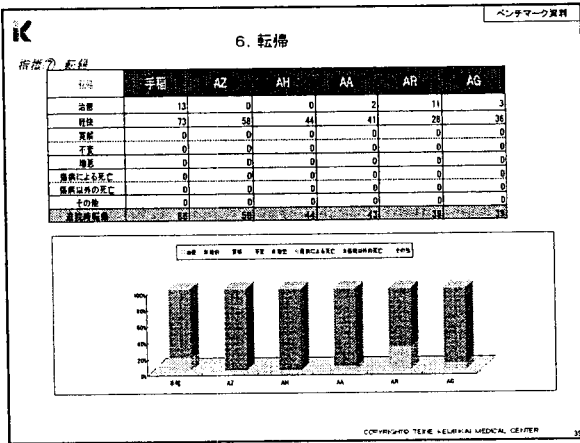
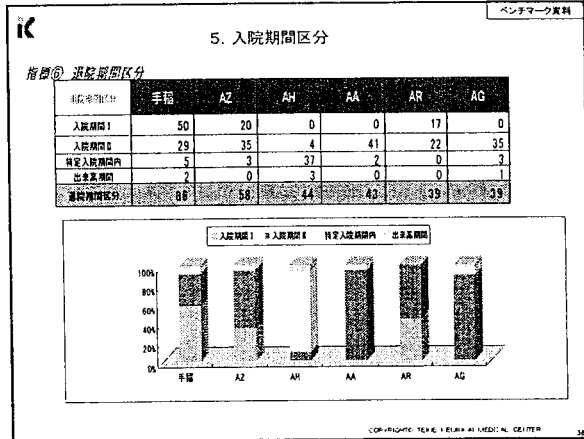
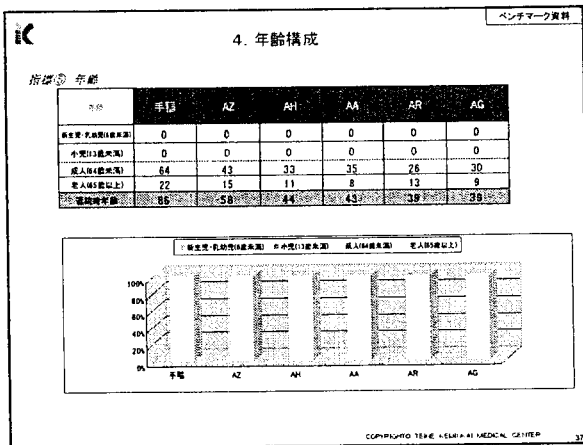
ベンチマーク資料

3. 包括範囲の出来高点数

指標② 包括範囲出来高点数

診療科	手術	AZ	AH	AA	AR	AG
内科	1,284	882	3,284	882	1,078	1,352
外科	2,822	4,202	11,822	3,822	2,822	11,202
救急	1,378	2,822	4,278	2,521	825	3,884
入院	18,488	18,506	28,020	18,582	12,284	22,222
手術	2,213	7,882	17,540	1,304	5,210	12,100

COPPHOTO TEXE HELPAI MEDICAL CENTER 36



● 傷病名 : 2007年1月~12月
 ● DPCCD : 050130xxxx00xx
 ● 傷病名 : 心不全 手術 処置等1 なし 手術 処置等2 なし

● 入院期間1 : 10日 II 20日

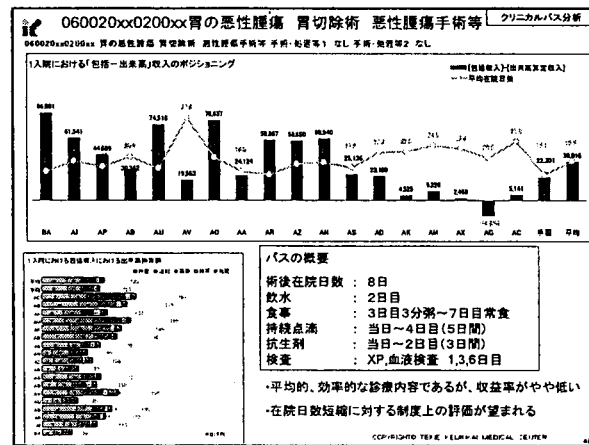
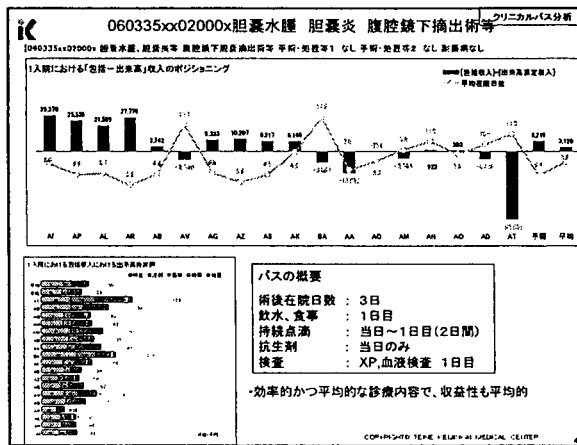
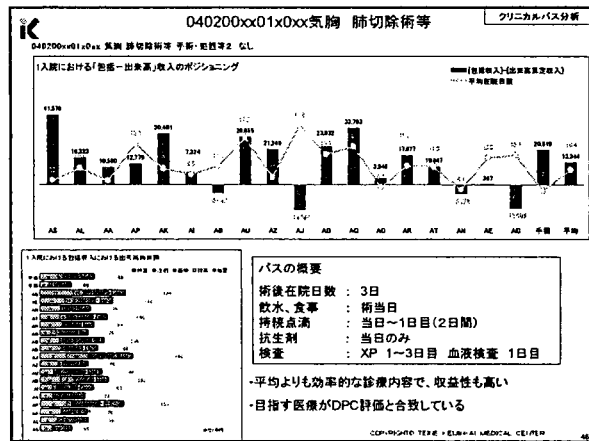
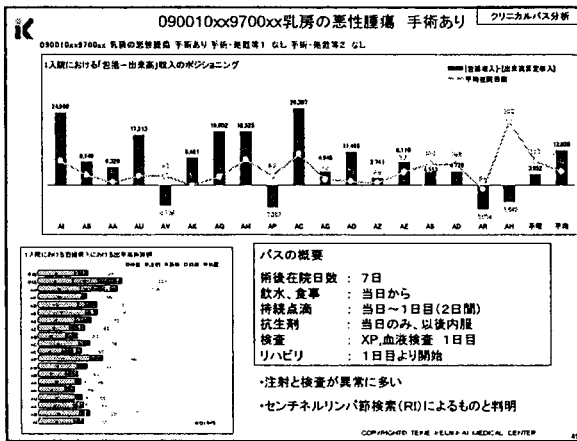
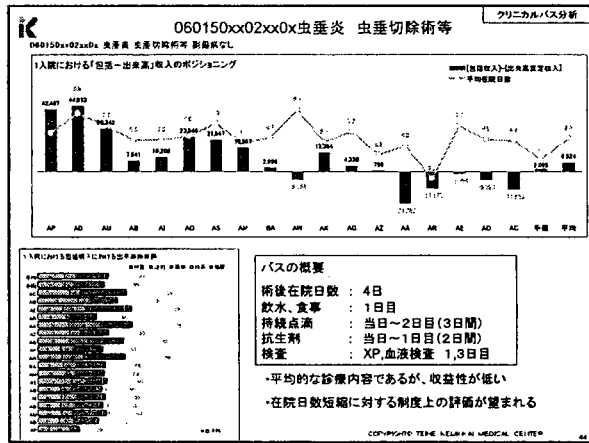
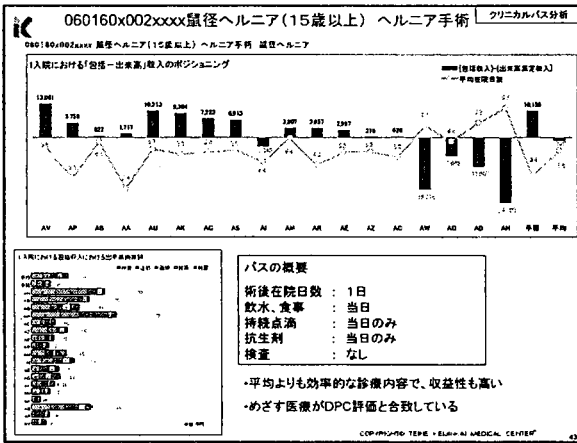
ベンチマーク	A		B		C		D		E	
	出来高	割合	出来高	割合	出来高	割合	出来高	割合	出来高	割合
総計	171	13%	171	13%	171	13%	171	13%	171	13%
平均年齢	75.15	40.1%	75.15	40.1%	75.15	40.1%	75.15	40.1%	75.15	40.1%
入院	120	27.6	120	27.6	120	27.6	120	27.6	120	27.6
手術	1,201	1,202	1,001	1,002	1,121	1,122	1,141	1,142	1,161	1,162
在宅	4,434	4,436	2,004	2,006	2,562	2,564	2,074	2,076	2,290	2,292
入院	12,211	8,843	10,923	8,033	12,418	9,074	18,252	13,316	17,381	12,727
手術	43,379	0	43,379	0	43,379	0	43,379	0	43,379	0
入院	13,123	1,814	14,937	2,082	16,215	2,280	18,541	2,524	21,065	2,880
手術	4,241	8,841	44,827	84,837	28,551	28,551	12,318	12,318	14,631	14,631
入院	83,281	3,338	86,619	10,782	86,520	8,070	58,877	1,388	58,489	27,537
手術	78,442	0	77,625	3,472	33,807	3,597	23,970	483	18,297	980
その他	4,430	14,910	3,790	13,758	38,713	38,818	11,283	5,320	3,138	1,440
入院	184,442	38,025	1,140	220,996	67,536	137,013	289,532	48,145	473,895	107,374
手術	26,225	20,275	34,616	44,848	44,203	25,833	23,823	26,454	38,454	40,031
その他	383,271	807,483	808,888	418,218	518,148	529,988				
合計	540,484	323,424	871,953	882,403	851,261	498,118	241,229	537,338	849,503	710,804

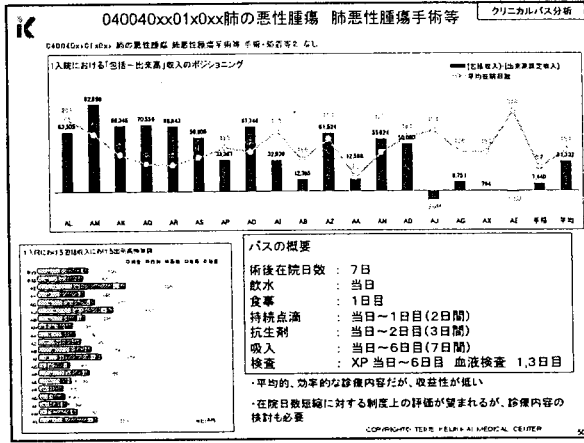
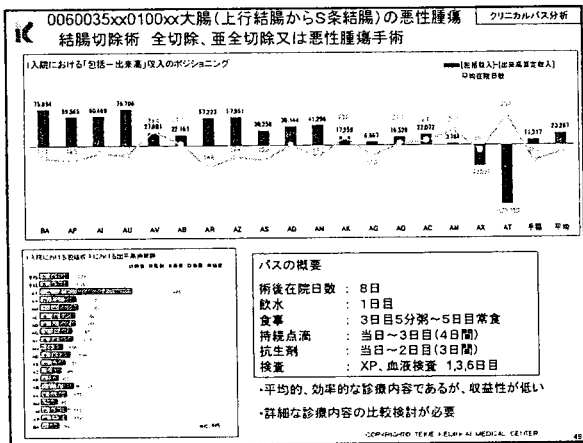
Copyright © TEIKO EISHI AI MEDICAL CENTER 41

● 期間 : 2007年1月~12月
 ● DPCCD : 050180xx99xxxx
 ● 傷病名 : 下肢静脈瘤
 ● 入院期間1 : 3.025点 6日
 ● 入院期間2 : 2.399点 13日

ベンチマーク	A		B		C		D		E	
	出来高	割合	出来高	割合	出来高	割合	出来高	割合	出来高	割合
総計	8	13%	8	13%	8	13%	8	13%	8	13%
平均年齢	66.76	22.1%	66.76	22.1%	66.76	22.1%	66.76	22.1%	66.76	22.1%
入院	121	17.2	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8
手術	10,442	0	3,812	482	573	558	5,741	2,485	3,360	8,151
在宅	20	1,759	437	4,722	1,228	5,493	2,616	4,103	0	8,845
入院	2,234	0	2,824	0	11,814	0	12,045	0	26,281	0
手術	10,420	0	15,332	0	47,843	1,000	30,423	0	16,481	0
入院	234	0	2,573	0	1,368	0	525	0	2,054	0
手術	0	381	0	4,215	0	88	0	4,887	0	84
手術	28,401	2,022	44,402	0	27,941	3,878	28,811	422	42,524	808
手術	42,041	1,806	22,841	8,281	39,518	14,273	30,518	2,879	25,242	22,850
手術	1,000	2,538	8,011	11,838	4,221	13,493	2,211	24,172	22,022	40,851
その他	24,441	25,044	254,416	21,380	283,333	28,282	245,481	28,579	413,822	37,178
入院	35,645	44,032	21,546	83,723	24,271	58,814	23,152	86,198	31,173	138,405
手術	375,421	380,871	384,261	389,704	436,272	408,877	456,814	451,987	501,571	518,250
その他	1,621	1,621	1,621	1,621	1,621	1,621	1,621	1,621	1,621	1,621
合計	748,735	458,401	748,735	564,128	812,062	522,824	812,064	606,584	872,761	847,528

Copyright © TEIKO EISHI AI MEDICAL CENTER 42





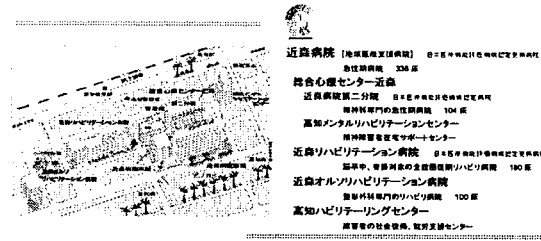
DPC評価分科会
平成21年2月23日(月)

機能評価係数について 労働生産性を高めてマンパワーの充実と質の確保

(医)近森会 近森病院
院長 近森 正幸

近森会グループ

急性期医療から
リハビリテーション・在宅医療まで

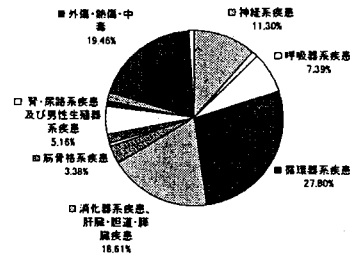


近森病院

- ICU・CCU 24 HCU 20(H12.7)
- 医療機能評価更新(H19.8)
- 地域医療支援病院(H15.2)
- 臨床研修指定病院 - 管理型(H15.10)
- 救急医療管理加算の引き上げ(H18.4)
- DPC対象病院へ(H18.4)
- 一般病棟7対1入院基本料(H18.4)

地域医療支援病院紹介率 81.86%
入院1人1日当単価 63,629円 (H17年4月現在) → 75,734円 (H20年7月現在)

DPC退院患者のMDCの割合(2008年1月~12月)
近森病院



DPC退院患者のMDC分類別件数と平均入院日数

MDCコード	MDC名称	患者数	平均入院日数
01	神経系疾患	813	19.6
02	眼科系疾患	3	8.0
03	耳鼻咽喉科系疾患	90	4.7
04	呼吸器系疾患	532	21.2
05	循環器系疾患	2,000	12.5
06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	1,339	14.4
07	筋骨格系疾患	243	23.1
08	皮膚・皮下組織の疾患	35	19.4
09	乳房の疾患	3	28.0
10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	113	17.5
11	腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患	371	15.4
12	女性生殖系疾患及び産婦人科疾患・異常妊娠分娩	3	5.0
13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	55	30.5
14	新生児疾患、先天性奇形	7	8.4
15	小児疾患	118	9.1
16	外傷・熱傷・中毒	1,400	15.3
17	精神疾患	7	9.7
18	その他	63	23.1
合計		7,195	15.5

高知県[MDC別退院患者データ数 2007年7月~12月]

